



Better care for more people

Company profile

PHILIPS

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。
詳しくは担当営業、もしくはお近くの事業所までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有
名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

© 2026 Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

042605001-WC

フィリップス・ジャパン会社案内



✦
革新的なテクノロジーで
人々の健康と豊かな暮らしを
支えています

フィリップスは、革新的な技術を通じて、人々のよりよい健康と満ち足りた生活の実現を目指しています。2030年までに、年間25億人の生活の向上に貢献することを目標とし、そのうち4億人は医療やサービスが十分に行き届いていないコミュニティの人々です。フィリップスおよび当社ブランドのライセンスを付与された企業は、テクノロジーカンパニーとして「もっと健やかな未来へ」という一貫した信念のもと、人々のためのイノベーションを生み出し続けています。

革新的なヘルステクノロジーとAIで 日本の医療の未来をともに拓く

フィリップスは、1891年にオランダでGerard Philipsによって設立されて以来、130年以上にわたりイノベーションを通じて社会に貢献してまいりました。現在、私たちはヘルステックのリーディングカンパニーとして、「Better care for more people（より多くの人々に、より良いケアを）」を掲げ、AIをはじめとする革新的なテクノロジーとソリューションを通じて、人々の健康とウェルビーイングの向上を目指しています。そして2030年までに、年間25億人の生活の質の向上に貢献することを目標としています。

日本のヘルスケアを取り巻く環境は、大きな変革の時を迎えています。高齢化の進展に伴う医療ニーズの高度化・多様化、医療従事者不足、医療費の増加など、さまざまな課題が顕在化しています。こうした状況の中で、医療の質を維持・向上させながら持続可能な体制を構築するためには、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進に加え、AIの活用による診断・治療支援や業務効率化、そして医療従事者の皆様の働き方改革がますます重要となっています。

フィリップス・ジャパンは、AIを活用した高度な画像診断支援やデータ分析、先進的な医療機器・ソリューションの提供に加え、院内外の医療情報連携の最適化、ワークフロー改善のご提案、さらにはhospital to homeの実現を支えるホームケアソリューションの強化を通じて、医療現場の課題解決に貢献してまいります。テクノロジーと人の力を融合させることで、患者様とご家族にとってより安心できる医療体験を提供するとともに、医療従事者の皆様の負担軽減と満足度向上、そして医療の質と効率の両立を目指してまいります。

日本においては、1953年にフィリップス製品の輸入を開始して以来、循環器・脳疾患領域をはじめとする高度医療、急性期・重症患者ケア、睡眠・呼吸領域のホームケア、さらにはオーラルケアやグルーミング&ビューティといったパーソナルヘルス分野に至るまで、幅広い分野で事業を展開してきました。現在は、eICUやeHomeCareなど医療DXの推進に加え、AIを活用した新たなソリューション開発にも注力し、医療の未来を見据えた価値創造に取り組んでいます。

これからも私たちは、「Better care for more people」の実現に向けて、AIとイノベーションを原動力に、すべてのステークホルダーの皆様と連携し、日本のヘルスケアの発展に貢献してまいります。



株式会社フィリップス・ジャパン
代表取締役社長 安部 美佐子

フィリップスは
画期的なイノベ
人々の生活の向

130年以上にわたり、
ーションを次々と生み出し、
上に貢献してきました。

1890年代



イノベーションと
起業家精神に基づいた創業

1900年代



照明機器以外に事業を拡大

1940年代



第二次世界大戦後に
グローバル展開

1990年代



事業の多角化を推進

2010年代



事業ポートフォリオの
戦略的絞り込み

フィリップスが目指す 提供価値

日本の医療業界では、医療従事者の労働力不足、医療機関の厳しい財政状況が深刻な課題となっています。

フィリップスは、これらの課題解決に向けて、4つの価値を提供し、それぞれの価値の連鎖を図ります。



患者様のよりよい
健康の実現



患者様・ご家族の
満足度向上



医療従事者の
環境の改善



医療コストの
削減と収益改善

現在も革新的な技術を活用し ヘルスケア領域の課題解決を目指しています

売上の

9%

を研究開発に
投資(2024年)

~50%

のソフトウェア/
データサイエンスで
研究開発を重点化
(2024年)

50,500件

の特許を保持(2024年)

第1位

2024年の
欧州特許庁への
医療技術特許出願件数

クラリベイトによる

**トップ100
グローバル・
イノベーター**

13年連続獲得



ヘルステックポートフォリオ

人々の健康な生活を 一つのつながりとして考えています。

フィリップスは、ヘルスケアは全体的につながりを持つものであると考えています。人々が健康な生活を送り、病気を予防するためのお手伝いをします。臨床医が正確な診断を行い、パーソナライズされた治療に必要なツールを提供し、そして患者様が自宅や地域社会で回復するというプロセスをシームレスなつながりでサポートします。

お客様視点での 価値創出を目指す

7つのセグメント

フィリップスのミッションは、ヘルステックによって、医療機関・患者様・健康な人々など、さまざまな方々が必要とする価値を創造し提供することです。私たちは、お客様視点での価値創出に向けて、7つのセグメントで組織を編成しています。



Precision Diagnosis
画像診断



Image Guided Therapy
イメージガイドドセラピー



Monitoring & Connected Care
モニタリング & コネクテッドケア



Enterprise Informatics
エンタープライズ インフォマティクス



Sleep & Respiratory Care
スリープ & レスピラトリーケア



Personal Health
パーソナルヘルス



Services & Solutions Delivery
サービス & ソリューションデリバリー



Precision Diagnosis

画像診断

より確度の高い 画像診断を支える フィリップスのソリューション

フィリップスの放射線医療ソリューションでは、適切なデータ、技術、臨床所見に基づいた確度の高い診断とよりよい治療のための最新のイノベーションを提供しています。これにより患者様・ご家族の満足度の向上、医療従事者の環境改善、不要なコスト削減と収益改善を支援します。また、超音波診断装置は、循環器領域での最新技術開発に加えて、画質と性能に妥協することなく汎用性とポータブル性を追求。患者様がどこにいても先進技術を提供できるよう設計されています。

取り扱い製品・サービス



磁気共鳴画像診断装置 (MRI)



X線CT診断装置



超音波画像診断装置



Image Guided Therapy

イメージガイドドセラピー

低侵襲治療による 価値を提供する 製品ポートフォリオを展開

イメージング装置分野では、据え付け型のアンギオ装置と移動型の外科用Cアーム装置で低侵襲血管内治療と外科的手術の双方へ対応しています。また、診断・カテーテルデバイス分野では、冠動脈領域、末梢血管領域、不整脈領域それぞれで、診断・治療デバイスを取り揃え、循環器領域の診断・治療を支えています。

取り扱い製品・サービス



血管造影診断装置



X線透視診断装置



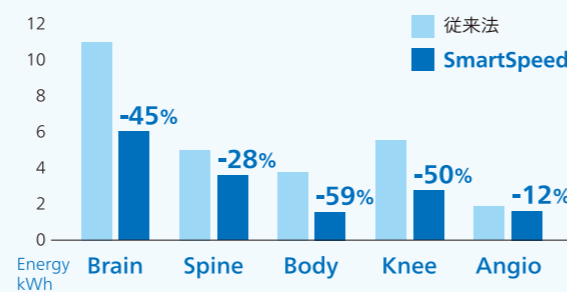
血管内超音波診断 (IVUS) カテーテル

- スコアリングバルーン
- エキシマレーザ
- プレッシャーガイドワイヤ
- リード除去システム

Topics

MRI検査の効率化を支える AI高速撮像技術 SmartSpeed Precise

MRI検査では高画質な画像を得るために撮像時間が長くなることがあり、患者負担や装置の電力消費、医療スタッフの業務負担が課題となる場合があります。フィリップスのAI高速撮像技術「SmartSpeed Precise」は、AI*1による高速化と画像再構成により短時間でも高画質な画像取得を可能にします。これにより検査時間の短縮による患者負担の軽減に加え、検査効率の向上による医療現場の働き方改革やエネルギー消費の削減にも貢献します。試算では従来法とくらべて1検査あたり最大約59%*2のエネルギー削減も可能とされており、持続可能なMRI運用を支援します。



*1 本AI技術は、自動的に装置の性能・精度が変化するものではありません。
*2 SmartSpeedと従来法SENSEベース撮像の電力比較、COCIR条件および社内シミュレーションに基づく。施設ごとに結果が異なる可能性あり。

Topics

社会課題に トータルソリューション

日本の三大疾病である脳卒中や循環器疾患は、要介護となる原因の25%※を占めており、これから高齢化が進行する中で社会的負担のさらなる増大が予測されています。医療現場では、ワークフローの効率化、患者ケアの向上、そしてコスト削減が大きな課題となっています。フィリップスはイメージング装置と診断・治療デバイスの両方を提供するブランドとして、統合的なソリューションを通じて高度化・複雑化する医療現場のニーズに応え、インターベンション手技をサポートする革新的な技術を提供し、現代医療の課題解決に取り組んでいます。



※厚生労働省「2022(令和4)年国民生活基礎調査の概況」



Monitoring & Connected Care

モニタリング & コネクテッドケア

医療現場へのクリアな情報提供で スムーズな治療につなげます

昨今、新たな医療機器やパラメータが登場し、医療の安全性が向上する一方で、確認すべき画面や情報量も増加しています。フィリップスの生体情報モニタは、経験や知識に依存せずに患者様の状態の変化に気づける環境を構築するClinical Decision Support(CDS)ツールを提供しています。また、治療の環境や患者様のケアレベル等、さまざまな要件に対応し、必要なときにスムーズな治療につなげられる情報を提供しており、コンパクトで移動が可能な製品やMRI対応が可能な製品を含め、豊富なラインアップから使用環境に適応した製品を選択いただけます。

取り扱い製品・サービス



生体情報モニタ



搬送用生体情報モニタ



MRI対応
生体情報モニタ



ホルター心電計

- 医療用テレメータ
- スマートフォン連携
- 鼻翼装着型パルスオキシメトリ



Enterprise Informatics

エンタープライズ インフォマティクス

医療情報連携の標準化と データ利活用を促進し、 ヘルスケア提供のあり方を変革します

医療現場における限られたリソースを患者様のアウトカム改善に集中できるよう、フィリップスのエンタープライズ インフォマティクスでは、医療情報やデータの連携や利活用を促進し、ヘルスケア提供のあり方を変革します。医療機関、ワークフロー、ベンダーを超えたソフトウェアとハードウェアのシームレスな連携により、臨床データと業務データを活用、プロセスを最適化し、医療現場における生産性の向上を目指しています。

取り扱い製品・サービス



画像解析ワークステーション



部門システム
(手術部門・重症部門)



心・血管画像管理システム



臨床データ連携

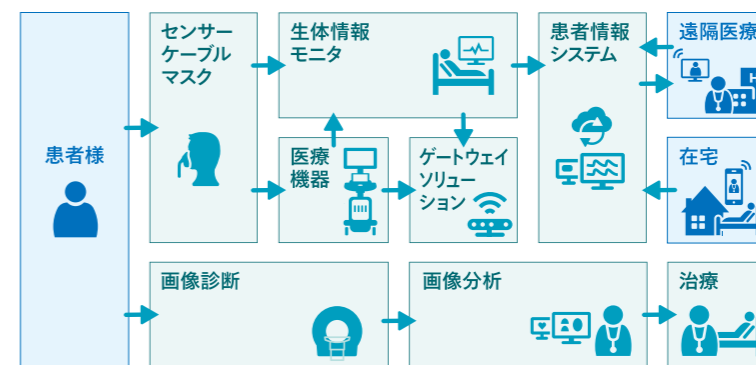
- ヘルスケアIT
- MRI超音波融合前立腺生検装置

Topics

Skin to Screen to Care

センサからモニタまでの一貫した
データ品質に配慮

フィリップスでは、患者様の皮膚に直接的に装着するパルスオキシメトリや電極、血圧測定用カフといった消耗品から生体情報モニタにいたるまでの一連の流れで、国際基準に準拠し互換性のある製品を提供しています。また、外頸動脈と内頸動脈の交叉点の豊富な部位である鼻翼に装着するパルスオキシメトリといったフィリップスのみのユニークな製品があります。鼻翼装着型のパルスオキシメトリは、ハンズフリーといった入院中の患者様のQOLの向上をサポートします。



Topics

国内初 「地域医療推進型 高度遠隔ICU」

北海道において国内初となる「地域医療推進型 高度遠隔ICU」が、2026年1月より札幌医科大学附属病院に導入されました。遠隔ICUソリューションとして、フィリップスのeICUプログラムが採用されています。本プロジェクトは、北海道が抱える地理的・気候的な制約や集中治療医の偏在といった医療課題に対し、遠隔ICUによる支援体制を構築することで、地域医療の質・安全性の向上および医療従事者の働き方改革を目指す取り組みです。今回の導入により、北見赤十字病院および製鉄記念室蘭病院への遠隔支援が開始され、将来的には道内のICUを包括的につなぐ「(仮称)北海道遠隔ICU医療ネット」の構築を見据えています。地域医療を支える新たなモデルケースとして、今後の発展が期待されます。





Sleep & Respiratory Care

スリープ & レスピラトリーケア

自然な呼吸と 快適な眠りをサポート

睡眠治療装置や人工呼吸器などの診断・治療データをクラウド管理し、病院内だけでなく、ご家庭での在宅長期ケアもサポートします。遠隔医療ソリューションでは、遠隔モニタリング、オンライン診療、適切な介入で、対面診療が難しい場合でも患者様の様態を把握しながら遠隔でのサポートが可能となり、通院負担や未外来の軽減、感染拡大期における選択肢の一つとしてご利用いただけます。

取り扱い製品・サービス



睡眠呼吸障害
検査装置／治療装置



人工呼吸器・酸素濃縮器
(在宅)



人工呼吸器
(病院)



クラウド管理
(遠隔モニタリング・遠隔処方変更)

Topics

LINE公式アカウント 「Philips スリープ」

LINE公式アカウント「Philips スリープ」では、睡眠や睡眠時無呼吸症候群に関する情報を配信しています。睡眠時無呼吸症候群についての質問ができるチャットボットや、睡眠時無呼吸症候群の疾患啓発サイト「無呼吸ラボ」を閲覧いただくなど、手軽に情報にアクセスでき、睡眠についての知識を深めることができるコンテンツをお届けします。

また、CPAP装置をご使用中の方を対象に、装置に関する情報の確認、マスク簡易取扱説明書の確認、定期交換や定期支給のタイミングのお知らせ、治療初期のフォローアップ情報などをLINE上で受け取ることができ、日々の治療を身近でサポートします。

眠るの大好き
まくらっち



スマートフォンなど各端末のカメラから二次元コードを読み取り、友だち追加します。



Personal Health

パーソナルヘルス

健康な生活を支える イノベーション

オーラルヘルスケアでは、フィリップスの100年以上にわたるヘルスケアの専門知識を活かしながら、歯科専門医の協力のもとで開発した製品を家庭向けに提供しています。グルーミング&ビューティでは、定期的なリサーチを実施することで時代のトレンドや志向にも対応し、肌へのやさしさにも考慮したシェーバーやグルーミング製品、光美容器を提供しています。

取り扱い製品・サービス



オーラルヘルスケア



シェーバー



グルーミング



ビューティ

Topics

サステナブルな オーラルケアへの取り組み

フィリップスでは、電動歯ブラシブランド「フィリップス ソニックケア」のブラシヘッド9種について、パッケージ仕様の刷新とバイオベース素材[※]の採用を進めています。パッケージには、リサイクル可能な紙素材を使用し、ハサミを使わず手で開封できる設計とすることで、環境負荷の低減と日常の使いやすさの両立を実現しました。

また、ブラシヘッドの柄部分には、ISCC認証を取得した70%バイオベース素材を採用し、化石燃料由来プラスチックの削減に貢献しています。フィリップスは、持続可能な社会の実現に向け、製品づくりを通じた環境配慮を今後も継続していきます。



[※]マスバランス方式で割り当て



Services & Solutions Delivery

サービス & ソリューションデリバリー

装置を快適にご使用いただくために、 そしてさらなる価値を創出するために

フィリップスのカスタマーサービスでは、システムのライフサイクルに合わせた各種プログラムを用意しております。患者様にはよりよい結果を、スタッフには勤務環境の改善やさらなる満足度の向上を、そしてデータ保護やリスク低減、収益改善のために、導入時にはもちろん将来にわたって装置・システムから高い価値を引き出しただけのよう、専任スタッフがご要望をお聞きし、お客様のパートナーとしてさまざまな提案をお届けいたします。

取り扱い製品・サービス

フィリップスのカスタマーサービス

装置を快適に
ご使用いただくための
豊富な保守プログラム

臨床的な価値を
高く維持するための
さまざまなサポート



※オプションを含みます。製品または地域によって、お選びいただけないサービスもあり、除外あるいは追加費用を申し受ける場合があります。また、保守契約に追加できるオプションサービスは装置によって異なります。詳しくは営業または担当エンジニアにお問い合わせください。

Topics

お客様のパートナーとして 製品ライフサイクルの課題に応える サービスソリューションを提供

装置購入後に、定期的なアップグレードや最新技術・先進的な臨床性能を追加することは、装置の陳腐化リスクを低減し、長期間にわたり高い性能を維持して運用することにつながります。「Technology Maximizer」は、このような製品ライフサイクルにおける課題解決を支援し、競争力の維持、スタッフの満足度向上、サイバーセキュリティ強化などを実現します。また医療技術が急速に発展する中、継続的な教育や技術継承の重要性が高まっています。フィリップスは、Eラーニング、オンライン/オンサイトトレーニングなど、多様なかたちの継続的な教育サービスを提供し、進化する医療に適応した検査・治療の実現、患者・スタッフ双方のさらなる満足度向上を支援します。



Thought Leadership

ソートリーダーシップ

Future Health Index 2025



Future Health Indexは、フィリップスが実施するグローバル調査レポートです。第10版となるFuture Health Index 2025では、AIをはじめとする革新的テクノロジーが医療従事者をどのように支援し、より多くの人々に質の高い医療を提供できるかを探っています。16カ国の医療従事者1,900人以上と患者16,000人以上を対象に調査を実施し、医療におけるAI活用と信頼構築の課題や可能性を明らかにしています。

詳しくはこちらから
ご覧いただけます。



PHSSR

保健医療システムの持続可能性と強靱性のための
パートナーシップ



Partnership for Health System Sustainability & Resilience

PHSSRは、各国の医療システムが抱える課題をESGの多角的な視点から評価・可視化し、エビデンスに基づく政策提言を行うグローバルパートナーシップです。フィリップスは創設メンバーとして参画し、デジタルヘルス、NCDs(非感染性疾患)の早期診断、環境負荷低減につながる技術の領域で取組を推進し、持続可能で強靱な医療システムの実現に貢献してきました。日本では、遠隔医療やAI技術を活用することで、地域医療の強化、医療人材不足への対応や地域間格差の縮小の実現に寄与していきます。フィリップスはPHSSRを通じ、「Better care for more people」の政策レベルでの具体化に向けて継続して取り組んでいます。

詳しくはこちらから
ご覧いただけます。



Sustainability

サステナビリティ

SDGsを支持する私たちのアクションプラン

イノベーションを通じてより健康で
よりサステナブルな世界を目指します
2030年までに年間25億人の生活の向上を目指します



人々の健康と福祉を改善し、医療アクセスが不十分なエリアにそのアクセスを拡大します



材料の持続可能な使用を確保し、サーキュラーエコノミーへの移行を推進します



持続可能なエネルギー、CO₂排出量の削減、カーボンニュートラルでの運用を確約します



- サプライチェーン全体で社会的および環境的な影響を高めるためにサプライヤーと協力します
- パートナーと協力し、地球規模の変化を推進します

ENABLERS

- エコデザインの要件に沿った製品とサービスを設計します
- 私たちの働き方にサステナブルの実践を組み込みます

健康経営への取り組み

フィリップス・ジャパンは、従業員の心身の健康を重要な経営課題と捉え、「健康づくり責任者(代表取締役社長:安部美佐子)」のリーダーシップのもと、戦略的な健康経営を推進しています。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



具体的な取り組み

- 経営トップとの健康課題の共有
- ワークライフバランスの向上
- 所定外労働削減の取り組み
- One Week Vacationの取得推奨
- ケア休暇(年10日)の導入
- 病気の治療と仕事の両立支援
- 健康診断の充実と受診率100%に向けた取り組み
- 女性の健康課題に関する取り組み
- ストレスチェックの実施
- 産業医面談の実施
- 感染症予防の取り組み
- 従業員の肩こり・腰痛解消に向けた取り組み
- 従業員を対象とした健康に関するトレーニング
- オフィス環境の整備
- 禁煙サポートの取り組み

Company Profile

会社概要

会社名 株式会社フィリップス・ジャパン(Philips Japan, Ltd.)

住所 〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1
麻布台ヒルズ 森JPタワー15階

資本金 30億円

代表取締役社長 安部美佐子

従業員数 1,933名(2026年3月1日現在)

拠点(2026年3月1日現在)

麻布台本社/札幌支店/道北支店/北見駐在/帯広支店/弘前支店/八戸支店/青森支店/仙台支店/盛岡支店/秋田支店/山形支店/福島支店/いわき支店/新潟支店/長岡支店/上越支店/宇都宮支店/つくば支店/水戸支店/川越DC・さいたま支店/前橋支店/千葉支店/千葉西支店/東京支店/南東京支店/西東京支店/東東京支店/松本支店/長野支店/山梨支店/横浜支店/厚木支店/静岡支店/沼津支店/浜松支店/名古屋支店/岡崎支店/岐阜支店/三重支店/金沢支店/富山支店/福井支店/京都支店/滋賀支店/大阪支店/尼崎修理センター/奈良支店/和歌山支店/神戸支店/姫路支店/広島支店/福山支店/岡山支店/津山配送センター/山陰支店/山口支店/松山支店/高松支店/徳島支店/高知駐在/福岡支店/北九州支店/大分支店/長崎支店/熊本支店/宮崎支店/鹿児島支店/沖縄支店

公式情報



公式ホームページ

<https://www.philips.co.jp/>

詳しくはこちらから
ご覧いただけます。



LinkedIn

[www.linkedin.com/
company/philips](https://www.linkedin.com/company/philips)

詳しくはこちらから
ご覧いただけます。



www.facebook.com/PhilipsJapan

x.com/@PhilipsJapan

www.youtube.com/user/philipsjapan